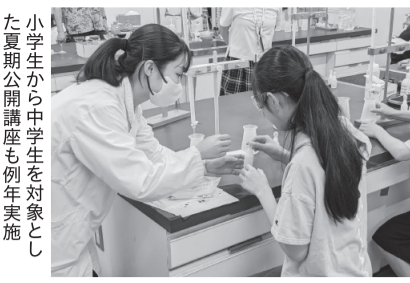


神戸市立工業 高等専門学校

探究×実践



小学生から中学生を対象とした夏期公開講座も例年実施

「地元企業とのつながりを強め、地域に根づく人材を育てる」というのが、本校の目指すところ。各学科における、これまでの教育ベースは維持する一方、26年度の学科再編に向けて重視する「情報教育」の取り組みは「道平校長補佐」と



2027年7月の稼働を予定する「神戸高専 地域共創テクノセンター」(外観イメージ)

企業との連携多様に

こうした企業連携の多様な取り組みの一端で、新明和工業（兵庫県宝塚市）は、神戸高専敷地内で自律走行ロボット（AMR）を用いた配送システムの実証実験を行った。配送員と荷受者双方の負担を軽減し「ラストマイル配送」の完全自動化を念頭に置いた新たな実証実験で得られた結果をもとに、同社ではシステムの改善を図るとともに、より複雑な環境下での運用に向けた周辺技術を開発する計画を明らかにしている。



研修風景



廃プラスチックリサイクルプラント



機械の操作を行うエンジニア

神戸高専は4月よりシステム情報工学科、知能ロボット工学科、機械システム工学科、電気電子デザイン工学科、環境応用化学工学科、都市デザイン工学科の6学科6クラスで実践的エンジニアを養成する。同校の特徴は、地域経済基盤となる産業を支える大手から中堅・中小企業が管内に集積していること。学校での教育・研究はもとより、地域企業など外部の教育資源との連携も積極的に行えるのが強みとなる。「地元企業とのつながりを強め、地域に根づく人材を育てる」というのが、本校の目指すところ。各学科における、これまでの教育ベースは維持する一方、26年度の学科再編に向けて重視する「情報教育」の取り組みは「道平校長補佐」と

知識だけじゃない、体験を通して学ぶ

「当校は阪神・淡路大震災を経験した高専であり、防災や危機管理に関する基礎知識を持つ学生を育てることも重要。こうした学びを明確化すること」が不可欠だと思ってい

地域共創テクノセンター、27年夏稼働へ

地域企業と学生との連携による多様な実践教育を取り組む同校であるが、企業連携のさらなる拡充を図り、現在、27年夏の稼働を目標とした「神戸高専 地域共創テクノセンター」の建設を同校敷地内に進めている。同センターは地元経済へのさらなる貢献が目的。目指すところは、同校を通じた神戸経済の発展だ。地元の企業や行政、経済界のハブとしての機能を果たす役割を担う。同校の研究シ

企業との連携多様に

こうした企業連携の多様な取り組みの一端で、新明和工業（兵庫県宝塚市）は、神戸高専敷地内で自律走行ロボット（AMR）を用いた配送システムの実証実験を行った。配送員と荷受者双方の負担を軽減し「ラストマイル配送」の完全自動化を念頭に置いた新たな実証実験で得られた結果をもとに、同社ではシステムの改善を図るとともに、より複雑な環境下での運用に向けた周辺技術を開発する計画を明らかにしている。

非破壊検査

管理本部 人事総務部 片桐伸晃さん

近畿工業

宮脇機械プラント

身につく知識、だけじゃない 実になる課題解決力を

神戸高専は「知識だけじゃない、体験を通して学ぶ」を教育のテーマに掲げる。少人数教育と充実した教育スタッフによるきめ細かな指導を徹底。理論を基礎に、実験実習を重視したカリキュラムによる実践的な技術教育を実施する。これまでの5学科6クラスを2026年4月より再編。新たに設置した知能ロボット工学科とシステム情報工学科の情報系2学科を含めた6学科6クラスとし、より幅広い分野で活躍できる人材の育成を推進する。

地域共創テクノセンター、27年夏稼働へ

地域企業と学生との連携による多様な実践教育を取り組む同校であるが、企業連携のさらなる拡充を図り、現在、27年夏の稼働を目標とした「神戸高専 地域共創テクノセンター」の建設を同校敷地内に進めている。同センターは地元経済へのさらなる貢献が目的。目指すところは、同校を通じた神戸経済の発展だ。地元の企業や行政、経済界のハブとしての機能を果たす役割を担う。同校の研究シ

企業との連携多様に

こうした企業連携の多様な取り組みの一端で、新明和工業（兵庫県宝塚市）は、神戸高専敷地内で自律走行ロボット（AMR）を用いた配送システムの実証実験を行った。配送員と荷受者双方の負担を軽減し「ラストマイル配送」の完全自動化を念頭に置いた新たな実証実験で得られた結果をもとに、同社ではシステムの改善を図るとともに、より複雑な環境下での運用に向けた周辺技術を開発する計画を明らかにしている。

プラントメンテナンス(非破壊検査)

誇りある仕事を一緒に

破碎機・ふるい機・選別機 製造・販売

リサイクル技術で社会に貢献

工作機械・鍛圧機械・精密測定機の専門商社

ロボットシステムに挑むエンジニア集団

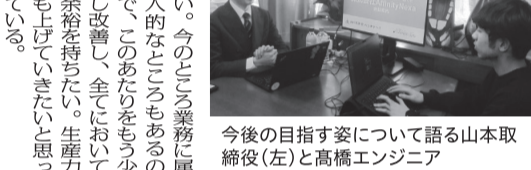
INTERVIEW 神戸高専新入生インタビュー Affinity Nexa

取締役 エンジニア 山本 泰資氏 高橋 颯氏

「起業のきっかけは、山本 ホテル・フライダル業界における人材紹介サポートや、スマートフォンアプリなどの受託開発を事業展開する。現役学生による起業は同校初となる。山本泰資取締役と高橋颯エンジニアに「かける想い」を聞いた。

高専での経験・知識生かし起業 山本 臆せずチャレンジ精神持とう 高橋

「わくわくを連綿とさせる。当社に関わる人々のわくわくをつなげたい。高橋 これまで神戸高専で学んで培ってきた技術



今後の目指す姿について語る山本取締役(左)と高橋エンジニア

「起業経験のある先生もいるので、勉強以外のことも身近に相談できる。高橋 学生がやりたいことをしっかりサポートしてもらえれば嬉しい。電子工学科には3Dプリンタなど自由に使える高級機材が多くあり、多様な経験ができる。山本 やりたいと思っただけに全力投球してほしい。例え失敗しても、それがきっかけで経験になる。高橋 自分がやりたいことに、臆せずチャレンジ精神を持って挑んでほしい。」

非破壊検査株式会社

私たちの日常は、いつもと変わらない。社会の安全を守る仕事がある。

近畿工業

君の技術が、地球の未来を美しくする。

宮脇機械プラント株式会社

～ユーザーとメーカーを技術で結ぶプロデューサー～